

短腸症候群について 知っていただきたいこと

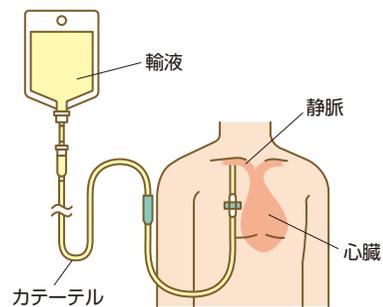
学校生活について先生方へのお願い

監修 加治 建 先生 久留米大学医学部 外科学講座小児外科部門 主任教授

(お名前) _____ は、通常より腸が短く（短腸症候群）、
必要な栄養素や水分を吸収することが難しい状態です。
そのため、不足する栄養・水分を補給するために、
カテーテルという器具を使って栄養剤を血管に直接入れています。
生活するにあたり、いくつか気をつける点がありますが、
普段は他のお子さんと同様変わらない生活を送ることができます。
学校の集団生活で、先生方、お友達と一緒に元気に過ごせるよう、
ご理解、ご協力いただけますと幸いです。

カテーテルについて

腸を通さず栄養を取り入れるため、心臓
近くの太い血管の中にカテーテルと呼ばれ
る細い管を入れています。
鎖骨や首のあたりから出ている管に点滴を
つなぎ、栄養剤の投与を行います。
また、皮下埋め込み型ポートと呼ばれる、
外からは目立ちにくいカテーテルを
使用している場合もあります。
日中に栄養投与を行う場合は、リュック
サックなどに必要な器具と栄養剤を入れて
登校することもあります。
その場合はご相談いたします。



中心静脈栄養（TPN）
鎖骨や首、太ももあたりから心臓近くの血管に
カテーテルが入っています

学校生活について

発熱について

カテーテルを入れていることにより、
感染症が起きることがあります。発熱
が見られた場合はすぐに下記連絡先
にお知らせください。

脱水について

脱水が起こりやすい体質のため、顔色
や様子に気を配っていただけますと幸
いです。普段と比べて元気がないとき、
目の下にクマがあるときは、下記連絡
先にお知らせください。

トイレについて

授業中でも便意、尿意が突然起こり、
トイレに行きたくなることがありま
す。ご理解・ご協力いただけますよう
お願いいたします。

食事について

下痢が起こりやすい体質のため、給食
などで食べられる量と食材が少ない場
合があります。具体的な内容について
はご相談いたします。

運動について

普段の運動について、参加する際に注意が必要なこと（水泳や鉄棒、ボールを使った競技など）もあります。具体的な内容についてはご相談いたします。

注意が必要な食べ物（ご自由に記載ください）

--

注意が必要な運動（ご自由に記載ください）

--

ご不明点や気になることがありましたら下記までご連絡ください。

連絡先	
緊急連絡先	



武田薬品工業株式会社